

12 月 9 日：警戒感の中、今週も上昇か

警戒感はあるが、VN 指数は今後も上昇し、1,030-1,080 ポイントのレンジを試す動きになると予想される。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.12% 高の 1,051.81 ポイントで取引を終えた。週間では 2.6% 安となった。

週間平均で 10 億株の出来高で、売買代金は 17.4 兆ドンだった。

相場は上昇トレンドから抜け出してはおらず、1,040 ポイント付近はサポートラインとなっている。しかし、相場の振れ幅と出来高は縮小してきているとロンベト証券は述べた。

つまり、警戒感は依然としてあり、投資家は相場の方向を見極めようとしている。VN 指数は 1,030-1,080 ポイントのレンジで推移し、レンジの上値を試す展開となると予想すると同社は語った。

そのため、投資家は需給を良く見極め、現在の相場の段階を評価する必要がある。短期的にはファンダメンタルズが良い銘柄を下落時に買うことを検討できる。しかし、上昇時には利益確定をして、ポートフォリオのリスクを減らすことも考えなければならないと同社はコメントした。

9 月から 11 月まで続いた下落トレンドで、VN 指数は心理的な節目の 1,000 ポイントを割った。そのところから、売り圧力が高まり、一度は 873 ポイントまで下落した。一方、この下落で押し目買いの資金が大きく流入した。

TPS 証券によると、VN 指数の最近の反発は世界的な株式市場の反発と同様に起こった。

12 月に入り、今後も反発が続くと同社は予想する。中国のゼロコロナ政策転換や為替相場の落ち着き、一部の銀行が貸出金利を引き下げていることなどが材料となる。

同社は VN 指数の動きを 3 つの展開で予想している。

ポジティブなシナリオでは、1,130 ポイントまで反発し、その後 1,131-1,200 ポイントを目指す。

ニュートラルなケースでは、流動性が 20 営業日平均を上回りながら横ばいが続き 1,030-1,130 ポイントで推移する。

悲観的なシナリオでは、VN 指数が再び 1,000 ポイントの節目を試すという予想だ。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。